

あきる野市教育委員会 3 月定例会会議録

- | | | | |
|---|--------|--|---|
| 1 | 開催日 | 令和 7 年 3 月 2 4 日（月） | |
| 2 | 開催時刻 | 午後 2 時 0 0 分 | |
| 3 | 終了時刻 | 午後 2 時 2 5 分 | |
| 4 | 場所 | あきる野市役所 5 階 5 0 5 会議室 | |
| 5 | 日程 | 日程第 1 報告事項（1）あきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）実施状況報告について
日程第 2 教育長及び教育委員報告 | |
| 6 | 出席委員 | 教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員 | 丹 治 充
小 西 フミ子
岡 部 秀 敏
田 島 弘 之 |
| 7 | 欠席委員 | 委 員 | 坂 谷 充 孝 |
| 8 | 事務局出席者 | 教 育 部 長
指 導 担 当 部 長
生涯学習担当部長
教 育 総 務 課 長
教育施設担当課長
学校給食センター建設準備担当課長
学 校 給 食 課 長
指 導 担 当 課 長
生涯学習推進課長
図 書 館 長
スポーツ推進課長 | 鈴 木 将 裕
三 品 孝 之
遠 藤 文 寛
木 村 紋 子
岩 崎 徹
和 田 達 也
田 倉 崇 史
佐 藤 宗一郎
石 川 尚 昭
山 根 悟
一 瀬 秀 和 |
| 9 | 事務局欠席者 | 指 導 主 事
指 導 主 事 | 宇佐美 拓 郎
近 藤 壮一郎 |

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（丹治 充君）

皆さん、こんにちは。先日は教職員の人事異動が発表され、また本日は午前中から小学校の卒業式が挙行されましたけれども、教育委員の皆様方には告辞をいただき、ありがとうございました。

それでは、ただいまからあきる野市教育委員会 3 月定例会を開催いたします。

本日は坂谷委員から欠席の届出がありました。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

なお、事務局は宇佐美指導主事、近藤指導主事が欠席しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めたいと思います。

まず、議事録署名委員については、小西委員と岡部委員を指名します。

それでは、議事に入りたいと思います。

日程第 1 報告事項（1）あきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）実施状況報告について、報告者は説明をお願いいたします。

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

報告事項、令和 6 年度あきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）実施状況報告についてご説明いたします。

本案につきましては、令和 6 年 3 月に策定いたしましたあきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）に基づき、あきる野市特別支援教育の推進状況について、毎年度、あきる野市特別支援教育推進計画実施状況報告書を作成し、市教育委員会の定例会議で報告することとなっておりますので、ご報告をさせていただきます。

詳細につきましては、指導担当課長から説明をいたします。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、令和 6 年度あきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）実施状況報告についてご報告させていただきます。

令和 6 年 3 月に作成しましたあきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）を踏まえ、令和 6 年 7 月及び令和 7 年 1 月に 2 度、あきる野市特別支援教育検討委員会を開催し、令和 6 年度におけるあきる野市特別支援教育の推進状況について確認いたしました。

まず、当委員会の委員の構成についてお伝えいたします。同委員会は学識経験者、医師、市内公立小中学校、東京都立あきる野学園及び市内就学前施設の保護者代表者、あきる野市私立幼稚園協会会長、あきる野市保育園協会会長、東京都立あきる野学園管理職、あきる野市立学校校長会会長及び副会長、庁内関係課の部長を委員とし、合計 18 人から成る委員会となります。

次に、同委員会で推進状況の確認を行った内容についてお伝えいたします。あきる野市特別支援教育推進計画（第 4 次計画）の第 4 章、あきる野市における具体的な施策のうち

3、乳幼児期の推進計画、4、小・中学校期の推進計画、5、小・中学校期終了後の推進計画について、各課による施策の推進状況の確認を行いました。同委員会では各課で取り組んできた施策の内容について、同委員会委員の意見を伺い、それぞれの専門的知見から出た意見を踏まえ、本報告書が作成されました。

ご報告は以上となります。

教育長（丹治 充君）

説明が終わりました。

これから質疑に入ります。何か質問などはございますか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

それでは、2点この報告書について教えていただければと思います。まとめて質問しますので、現時点で状況が分かればお知らせください。

まず、10ページの配慮を要する幼児の就学支援の充実の中で、実施状況について件数が令和4年度113件、令和5年度144件、令和6年度で14件となっておりますが、その4年、5年と比べると随分件数が少ないということで、教えていただければというのが1点。

2点目が、21ページのところにあります、これまでの成果と課題及び今後の方向性についてというところで、上から3行目、バーチャル・ラーニング・プラットフォームの現時点での利用数等が分かりましたら、教えていただければと思います。

以上2点です。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、お答えいたします。

まず1点目の10ページの上段、(2)の就学支援シートを活用した就学時期の支援の充実の件数につきましては、令和6年度14件となっておりますが、この令和6年度の数字については、この報告書を作成した時点の数となるのですが、大変申し訳ありませんが、もう一度本件数を改めて精査して確認させていただき、お知らせいたします。申し訳ありません。よろしくお願いします。

2点目のバーチャル・ラーニング・プラットフォームの利用状況につきましては、直近の2月のところで申し上げますと、配付しているアカウント数というものがあり、24人にアカウントを配付しておりますが、その方々（児童生徒）がログインした回数でご報告すると、2月のログイン数は122回となります。この数字ですが、年度当初はログイン数、月に10回や20回という数で推移しておりましたが、11月頃から100回を超えるようになり、12月は156、1月が172、2月は日数も少なかったのに122と少し下がりましたが、おおむね100回を超えてログインされるような状況となりました。令和7年度に向けては、さらに活用が進むよう、せせらぎ教室の利用者や、各学校のカラフルルームを利用しているお子さんや保護者への周知など図り、活用についてさらに推進してまいりたいと思っております。

以上です。

教育長（丹治 充君）

1 点目については、今後また精査してお知らせいたします。

委員（岡部秀敏君）

はい、ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

そのほかございますでしょうか。

小西委員。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

私は、19 ページの一番下のこれまでの成果と課題及び今後の方向性についての中のス
テップ、相談支援ファイル（ステップ）の扱いについて、現実には困難を伴っていますと
ありますが、どんな方法を考えて内容確認と活用に向けた周知を図っているのかを教えて
いただけますか。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

お答えさせていただきます。現段階でこのステップにつきましては、幼稚園、保育園か
ら学齢期、また、その後、成人に向けてこういった支援のファイルの状況を引き継いでい
くという要素のものになりますが、現状、例えば就学支援シート等で幼稚園、保育園から
学齢期、学校のほうに届きますが、またそれを継続してつないでいく形がまだ確立ができ
ていない状況がございます。こういった個人情報に関わるファイルになりますので、基本
的には保護者がずっと引き継いでポートフォリオのようにしていくようなものにはなりま
すが、ファイリングがそれぞれ個々によって違ってまいりますので、今後そういったつない
でいくような支援というのにも必要と考えておまして、現在のところでは現実には困難と委
員会の中では報告させていただいております。なかなかこの引継ぎを個人情報と、そして
全体、その行政の中でどのようにつないでいくかというところが、まだ詰め切れていない
ようなところも現状でございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

小西委員。

教育職務代理人（小西フミ子君）

すみません、障がい者の親の会の会合で、もう10年ぐらい前から、そのステップがで
きた辺りから、誰が持つかということで、親たちは療育に夢中になっていて、どこに置い
たかという人が結構いたんです。でも、これを取っておくと二十歳のときに障害基礎年金
とか、手続のときにとっても参考になるからという周知はしましたが、最終的に親たちが希
望するのは市のほうで全部分かっておいてほしいという意見ばかりでした。個人的に持つ
ていて、利用する人は利用しますが、ほとんどができない状態です。親としてどのよう
に扱ったら良いか分からない。また、中学までは良いですが、高等部になったら親は離れ
るかと思います。さらに、福祉就労や、成人の仕事になった場合には、そこでストップし

てしまい、誰が持っているかがすごく問題になりました。このことについては、個人で最終的に親に持たせるということが決定されているのでしょうか。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

現状ですと、このステップというファイリングのものは、実際にはファイルなのですが、共通で持っていけるようにつないでいるものになります。

教育職務代理者（小西フミ子君）

個人で持っているということでしょうか。

指導担当部長（三品孝之君）

はい、持っている状況となっております。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

教育職務代理者（小西フミ子君）

分かりました。

教育長（丹治 充君）

そのほかございますか。よろしいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

質問等もないようですので、本件は報告として賜りました。

続きまして、教育長及び教育委員報告に入らせていただきます。

私から報告をさせていただきます。私のほうでは、2月の15日、絵本とあそぼう全国訪問おはなし隊が図書館でお子さんと、親御さん、近隣の方、そして祖父母の方までお見えになっていて、キャラバン隊のご本を手にとって子どもたちが眺めておりました。本との触れ合いというのはなかなか難しい状況の中で、今回図書館で開催していただいたわけですが、この辺について山根図書館長のほうから、補足していただけると教育委員さんも分かりやすいと思いますので、ひとつお願いします。

山根館長。

図書館長（山根 悟君）

それでは、一言お話しさせていただきます。

今回の絵本とあそぼう全国訪問おはなし隊でございますが、これは講談社という民間の出版社が主催しているものでございまして、キャラバンカー、4トン車サイズぐらいのキャラバンカーなのですが、それに子どもたちが興味を示すような絵本の一部の絵柄がペイントされ、とてもかわいらしく、きれいなトラック1台でやって来ました。これは2台ありまして、全国をおよそ2年かけて各都道府県を回っているようでございます。たまたま今回は東京都、都を回るということで、実はあきる野市は2年ほど前に東部図書館エルで実施した経験がございます。今回、特に応募はしておりませんでしたが、予約のキャンセルがあり、講談社さんからあきる野市に対し、以前実績があるため、いかがでしょうかと声を掛けていただき、実施しました。

当日は本当に穏やかな気候の中で、親子、おじいちゃん、おばあちゃん一緒にいらっしやっただき、本を見に来ていただいた方々と、30人弱ぐらいの子どもが居ました。また、キャラバンカーの周りにクッションシートなどを敷いていただき、そこに座りながら、だっこされながら絵本に親しむというような、大変ほほ笑ましい光景が広がっており、大変幸せを私も感じることができました。後半は場所を移し、中央図書館の中でおはなし会を行い、おはなし室のほうに移動し、スタッフの方にお話をいただきました。図書館スタッフ、ボランティアさんが普段やっていますが、講談社のプロの方、専門でやっていらっしゃる方がいると、子どもたちの心のつかみ方がすごく上手で、本当に充実した時間で、約半日でしたが、楽しんでもらえたのではないかとこのところでございます。

また、丹治教育長はじめ教育委員の皆様にも、その場に視察に来ていただきまして、大変ありがとうございました。図書館スタッフも、これを見習って、さらに技術を上げていきたいというお話がありました。図書館スタッフも入れ替わり立ち替わり見に来るよんということをお話していただきましたので、図書館スタッフとして興味を持って接することができたのではないかと考えております。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

子どもたちにとって、非常にいい行事の一つになったかなと思っています。ありがとうございました。

それから、21日には第36回の西多摩中学校技術・家庭科作品展がルピアで開催されて、拝見してまいりました。学校間の特徴がよく現れた作品群でした。そういった意味では、あきる野市の子どもたちの作品と市町村の子どもたちの作品を比べてみるというような、非常に親にとっても作品鑑賞のいい機会が与えられたんじゃないかと思いました。

それから、もう一点は、今日卒業式がございましたが、秋留台高校、あるいは五日市高校、あるいは菅生高校、それから、中学校、小学校で、今日は小学校で終えたのですが、それぞれの発達段階に応じた卒業式が挙行されているということで、中身等についても、これから検討していくような状況も見られました。時間的に気になったのは、会場に入っている小学生が体育館の中ですから、トイレに行きたいような、そんな状況も、配慮しないといけないかと思いました。子どもたちは本当に一生懸命やっていたというのが私の印象でした。

私のほうは以上です。ほかの教育委員の皆さん方から何かありましたらお願いいたします。

小西委員、どうぞ。

教育職務代理者（小西フミ子君）

私は、中学校の合唱コンクールの、特に東中学校の昭島F O S T E Rホールの時にとっても感動してしまったんですけども、私のお隣に、音楽の先生がお座りになられまして、「今弾いているあの女の子、彼女がいなかったら今ここにいないんだよ」と仰いました。その方は定年退職の2年前に体を壊してしまいまして、そこの校長に辞職願を出すことにしていたそうなのです。楽器も持てず、ピアノも弾けずにいたとき、今ピアノ弾いているあの子から小学校4年のときに、年賀状をいただき、その先生に対し、「私が卒業するまでは絶対

にいてちょうだい」と言われ、その一言がとても気になったそうです。しかし、もう首から下が痛いので、辞めるんだと思っていたそうですが、どうしてもその言葉、一言が気になり、辞職願を校長先生の部屋に持っていく前に、もう一度そのはがきを見て、やっぱり辞めないと思い、先生を続けたとのこと。その後、その先生は、自然に、不思議にも治ってきたそうなんです。その先生は、彼女のあの一言がなかったら、私は今ここでこういうことしていないんだよというお話や、その経験された先生方の子どもに対する気持ちの、あの子がこうだったんだよという個人的なお話をとてもいいなと思いました。それから、今日の多西小学校は対面の6年生対在校生の言葉のやり取りと歌のやり取りで、歌で泣いてしまいましたが、本当に気持ちの込もった温かい卒業式でした。そのたびに教育委員として出させていただいて、感動をもらえるというのは役得だなと感じる日々です。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかの委員さん、何かありますか。よろしいですか。

田島委員、お願いします。

委員（田島弘之君）

私も、合唱コンクールも、卒業式も見させていただいて感じたことがあります。それは、小学校からの指導の積み重ねがあって、中学校の合唱のすばらしさに最終的につながっているというのを強く感じています。9年間で育てることの大切さ、そして子どもが成長する姿を見ることができたと思います。また、卒業式には西中学校に伺ったのですが、式の中で合唱がとてもすばらしいものでした。そして、今日は一の谷小学校の卒業式に伺ったのですが、二十数名しかいない子どもたちなのに一生懸命本当にいい声で歌うのです。その子どもたちが西中学校に進学し、卒業式にはやはりすばらしい声を響かせてくれるのだろう、そして、いろいろな場面で活躍してくれるのだろうと思うと、9年間の指導の大切さと成果を見せていただいた思いでいっぱいです。その喜びを私も感じてまいりました。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。ほかによろしいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、ほかの委員さんの報告が終わりましたので、これで教育長及び教育委員の報告を終了いたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてご案内をお願いいたします。

教育総務課長。

教育総務課長（木村紋子君）

それでは、今後の日程等についてご案内をさせていただきます。

3月31日月曜日の午後2時30分から、退職教職員の辞令伝達式を予定しております。

4月1日火曜日、午後1時30分から教育管理職辞令伝達式、午後2時30分から新規採用教職員辞令伝達式が503・504会議室で開催されます。

次に、4月7日月曜日、小学校入学式、翌日8日火曜日、中学校入学式が開催されます。

次に、4月15日火曜日、東京都市教育長会定例会・総会が東京自治会館にて開催されます。

最後に、次回4月の定例会でございますが、4月22日火曜日、午後2時から、503会議室で開催いたします。

私からの案内は以上となります。

教育長（丹治 充君）

ほかにありませんか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

なければ、以上をもちまして、あきる野市教育委員会3月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後2時25分